



≡ やっぱりいまの憲法がいいね！ ≡

5月3日は
憲法記念日

日本の進むべき道を指し示す憲法の前文

前文

日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたつて自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。そもそも国政は、国民の厳肅な信託によるものであつて、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理であり、この憲法は、かかる原理に基づくものである。われらは、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する。

日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようとして努めてゐる国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。

われらは、いづれの国家も、自国のことのみに専念して他国を無視してはならないのであつて、政治道徳の法則は、普遍的なものであり、この法則に従ふことは、自国の主権を維持し、他国と対等関係に立たうとする各国の責務であると信ずる。

日本国民は、国家の名誉にかけ、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓ふ。

(この後に第一条から百三条がつづきます。)

憲法記念日に 読んでみる



「日本国民は・・・」で始まる前文は敗戦で学んだ平和主義、そして新たな国民主権をしっかりと謳っています。

一方、「日本国は・・・」とし「民(国民)」を削除した自民党改憲案は冒頭から国民主権の制限を打ち出し、国が国民の上にあることをあらわにします。

1945年8月、敗戦で打ちひしがれた日本国民は、翌々年の5月3日に施行された再び戦争はしないと誓う日本国憲法に希望を見出し、戦後の苦境を乗り越え、今日の平和を暮らしを築きました。

前文は私たちの進むべき道を施行70年を超えるいまもしっかりと示しています。いま一度小さくとも声を出し読んでみるのもいいのではないのでしょうか。

児童虐待かもと思ったら

すぐ電話!

いち はや く 189

3桁ダイヤル

地域の児童相談所に繋がります。

全国共通

改憲防ぐには
参院選の勝利は野党
統一候補で共闘するこ
とです。候補者を決め

野党共闘

気運を盛り上げることに
野党第一、第二党に
要請しましょう。

要請先

立憲民主党
党本部
国民民主党
党本部

東京都千代田区平河町 2-12-4 ふじビル3階
03-6811-2301 Fax 03-6811-2302
東京都千代田区永田町 1-11-1
03-3595-9988 Fax 03-3595-9961



今月の予定です

皆さん 気軽に参加ください



5月9日(木) 16:00~17:00

9の日
行動
九条通信配布
梅郷駅 西口 野田・九条の会

5月11日(土) 13:30~16:00

野田・九条の会 学習・討論
5月例会 「日米安保条約と地位協定」
榎のホール 研修室 野田・九条の会

5月12日(日) 13:30~16:40

地獄を生きた70年!
「戦争孤児達の遺言」
「駅の子の闘い 語り始めた戦争孤児」
無料出欠会 & フェイスブック
南部梅郷公民館 南地域九条の会

5月19日(日) 16:00~17:00

9の日
行動
九条通信配布
川間駅 北口 野田・九条の会

5月23日(木) 13:30~15:30

ちょっと硬派な
おしゃべりカフェ
政治や憲法のこと気軽に
おしゃべりませんか
北コミ 談話室 野田・九条の会

5月29日(水) 16:00~17:00

9の日
行動
九条通信配布
愛宕駅 東口 野田・九条の会



官邸の執拗な個人攻撃

昨年8月から官房長官会見では東京新聞の望月記者と朝日新聞の南記者は拳手をしても指されなくなった。それまでは拳手があれば質問できるというルールがあったのに何故か。今井総理秘書官が自分の番記者に語ったオフレコのメモが望月記者のところに回ってきて分かった。

そこには「望月記者と南記者の2人、なんとかならないのか」趣旨のことが記されていた。

官邸の報道室長は昨年秋から、望月記者の質問を度々遮る行為を続けていて、東京新聞編集局長に対し「事実に基づかない質問は厳に謹んでほしい」などとする文書を9回も申し入れていた。官邸が「事実誤認」と言った際、「ああいう質問をするもんじゃ無い」と受け止めている記者は結構いたようだ。本来はみんな追求しなくてはいけなかったはずなのに。欧米のように一致団結して抗議しないことが問題だ。

脅かされる「知る権利」

3月14日夜、官邸前には現役記者7人と

市民役約600人が集まった。東京新聞の望月記者に対する官邸の妨害行為に抗議するものだ。

昨年12月26日の官房長官会見で、望月記者は辺野古の埋め立て工事で違法に赤土が混じった土砂が投入されている問題に関し、「実態が把握できていない」と問い質した。28日には官邸の報道室長名で、望月記者の質問を「事実誤認」と攻撃する文書を官邸記者クラブに掲示。望月記者は今年1月、「辺野古工事で防衛省 県に無断 土砂割合変更 環境に悪影響の恐れ」と1面で記事を書いたら官邸の抗議は止まった。

先述の抗議行動で望月記者は次のようにスピーチした。「記者会見は政府のものでもメディアのものでもなく、国民の知る権利を実践する場だ」。「誰かが行使しようとする」ことによって自らの権利も同時に守られていく、、、こういう視点が大切ではないだろうか。



憲法記念日に寄せて 角元 友子

今年で72回目の憲法記念日を迎えます。憲法9条は時代を先取りした世界に類のない誇れるものです。私たちは今こそ9条を含む憲法を大切に長く目指してきた崇高な理念を手放してはいけません。

防衛費が7年連続で増大し続け、今年は5.2兆円を超えた。アメリカに追随してイラクや南スーダンに自衛隊が派遣され、遺書を書いた隊員もいたという。安倍政権は、大事故につながるような欠陥のある戦闘機や武器をアメリカの言いなりになって法外な価格で買うことを決めた。こんな事を国民は黙認していいのでしょうか。軍拡を進め武力でことを解決するのでは戦前の二の舞でしょう。



「あたらしい憲法のはなし」より
(1947年(昭和22年)文部省中学校1年社会科教科書)

憲法改定に向け動き始めていた1946年1月、幣原首相はマッカーサーと非公式で会談した。後に幣原は『かねて考えていた世界中が戦力を持たないという理想論や世界から日本の信用を取り戻す為にも戦争を放棄する以外にないと話し出すと、マッ

カーサーは両手で手を握り涙をいっばいたためその通りだと言い出しびっくりした』と語っている。戦争放棄を決断する貴重な記録は、幣原が親友である祖父に語ったのを母が記録し、後に憲法調査会資料(ミチコメモ)となった。空襲で何もない東京で祖父を憲法の審議に送るため奔走した母が今、強く思い出される。

改憲へ対抗できるのは憲法に基づいた民主主義の力のみです。